

事業計画書

事業名	市民のプラットフォームを作る住民組織化の実践
実施場所	沼津市/プラサヴェルデ他
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載して下さい。 2020年4月1日 ~2021年3月31日

◎事業概要

※事業の概要を100~200字で簡潔に記載して下さい(事業の紹介などで使用します)。

2019年度に学んだコミュニティ・オーガナイズिंगをもとに、沼津市民シンクタンクの創設のための仕組みづくりをおこない市民のプラットフォームをつくる。主体的な市民活動に必要な「財政」について講師を招き、市民のお金を創出するため方法と、困りごとを地域課題として共有する「対話」の手法である円卓会議について学ぶ。

◎目的

※何を目的として実施する事業であるか(事業を行うきっかけ(地域の問題点や課題、社会背景など)や、課題解決のためにどんなことが必要と考えるか)を記載して下さい。

市民活動についての相談できる中間組織がなく、市民が主体的なまちづくりを行うためのプラットフォームの機能はない。そこで、今後行政のお金に頼らずに、市民が場を拓き主体的な活動を行うために、持続可能な市民社会を形成するための組織化を行い、地域課題を解決するためのローカルファイナンスについてお金の仕組みを考え、困りごとを地域課題として共有する「対話」の手法である円卓会議を行い、市民のプラットフォームを作り、市民の連携を図り、地域経済を回していくことを目的とする。

◎実施内容

日程	実施項目・作業項目
2020/4~2021/3	※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会)、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載して下さい。 毎月1回定例ミーティングを開催し、会の名称、理念、規約などを参加者と一緒に作成する。zoomなども利用し、学識者からのアドバイスも受ける。 話し合った内容はHP等に掲載していく。 会場：サンウエルぬまづ等
2020/11	地域の課題を解決する市民のお財布「ローカルファイナンス」の作り方(仮) 講師予定者：龍谷大学 政策学部教授 深尾昌峰氏 オブザーバー：静岡県立大学 国際関係学部教授 津富宏氏 時間：13:30~16:00 講演及びワークショップ 会場：プラサヴェルデ(予定) 講座後、ローカルファイナンス研究会として定例会を金融機関・商工会などと連携したいと考えている 地域の困りごとを社会課題として共有する場をつくる 「沖縄地域円卓会議」(仮題) 講師予定者：公益財団法人みらいファンド沖縄 平良斗星氏 オブザーバー：静岡県立大学 国際関係学部教授 津富宏氏 時間：13:30~16:00 講演及びワークショップ 会場：プラサヴェルデ(予定)

◎事業効果

<p>※事業の実施により、期待される効果を記載して下さい。 行政のお金に頼らない主体的な市民活動の場（HP、活動の拠点等）の運営を行うことができる。組織化のステップやノウハウを HP や冊子などで見える化することにより、他団体も組織化しやすくなり、将来的に様々な市民が横断的につながり、市民による地域課題の解決する力が高まり、持続可能な地域づくりを行うことができる。</p>			
成果指標	<p>※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定して下さい。</p> <p>定例ミーティングに参加し、市民シンクタンクの組織化に参加する人を100名とする</p>	指標の検証方法	<p>※左記指標の検証方法を記載して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織時の入会人数 ・場づくりのための寄付金額

◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

<p>公益性 ・ 必要性</p>	<p>※公益性：地域のまちづくりの推進に如何に寄与できるのか、不特定多数の市民の利益にどうつながるのか等について記載して下さい。 ※必要性：事業を実施する意義や、本ファンドによる助成が有益で質の高い事業展開につながる理由を記載して下さい。市民活動を持続的に行うためには活動資金は欠かせない。ただし、行政の補助金や助成金をいつまでも利用しているのでは、活動の目的を見失い、資金獲得のために翻弄されて継続することができない。「ローカルファイナンス」を利用することで、小さな市民団体や、市民のスマールステップをつくることができ、活動資金を自ら調達することで、能動的な市民が活躍し、地域が持続可能になると考える。</p>
地域性	<p>※地域の現状と課題をどう捉え、事業を行うことによってどのように課題を解決するのか、また、地域の特性や地域資源をどのように活かしたか、などについて記載して下さい。 沼津市民ファンドは、自由度が高い補助金で多くの市民、市民団体が利用しているが、横軸の繋がりがまだ構築されていない。また、小さな市民活動も多く、顕在化していない。地域資源を繋ぐ仕組みづくりとして「ローカルファイナンス」を利用することにより、市民のアイデアや人脈、お金を繋ぎ、市民の応援団を増やすことで、行政に頼らず民間による地域課題解決のための資金循環が行われる。</p>
先導性	<p>※事業の新規性や独自性など、新たにチャレンジする点、工夫した点などについて記載して下さい。 補助金に頼らずに市民や市民団体、地域ファイナンスが地域のお金を回す仕組みを整えることで、市民活動及び市民経済も活性化される。 市民が集めたお金を、市民のために何に使うか考えていく市民自治が行われることにより、行政頼みにならない市民活動が行われる。</p>
<p>発展性 ・ 継続性</p>	<p>※発展性：活動の広がりや波及効果がどのくらい見込め、地域の発展・活性化につながるのか記載して下さい。 ※継続性：本ファンドによる助成終了後も継続的・自立的な活動とするために、事業実施体制や活動資金の確保などにより取り組んでいくのかについて記載して下さい。 当団体が、実行委員から発展し組織化され、小さな市民活動センターのモデルとなることで、韓国などで行われている社会的連帯経済のように、地域課題から解決のために市民や地域資源などが連帯し、仕事づくりが可能となり、将来的に助成に頼ることなく自立的な活動が行われる。また将来市民ファンド事業が無くなった場合に、市民ファンドの代わりに「ローカルファイナンス」を利用してもらう</p>
<p>実現性 ・ 妥当性</p>	<p>※実現性：事業目的と事業内容は合致しているか、実現のために事業内容、予算の積算、自己資金の準備、スケジュール等について工夫した点を記載して下さい。 ※妥当性：各種法令順守、関係者との調整状況、費用に対する事業効果の妥当性について記載して下さい。 住民組織化や、市民ファンド事業と並行して、静岡県立大学の研究費を利用して韓国などの社会的連帯経済について学んできた。WEB 講座なども行い、延べ100名以上参加され、市民だけでなく多くの学識者も協力していただいている。市民社会を再編し、新たな市民プラットフォームを作るために、草の根的な活動を繋いでいく必要がある。</p>
活動に対する熱意	<p>※活動の動機、活動に対する意欲・熱意について記載して下さい。 住民組織化についての学びは台風によって延期されてしまったため、組織化していく実践をすることが出来なかった。自然災害が多発し、格差社会がすすみ、地域課題もますます山積しているが、行政に頼っているだけでは、暮らしを守っていくことができないという視点は共有できている。一億総活躍社会の実現において、市民の市民による市民のための小さな自己実現をローカルファイナンスなど学び、対話を大切に活動を行っていきたい。</p>

◎次年度以降の活動予定

※ソフト部門（ステップアップ型）新規または2回目の応募で、助成の継続（最大3年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載して下さい（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。

1年目は学びを多く行い、共通の知識を得た。2年目は市民のプラットフォームをつくり、団体を正式に組織化し、小さな市民活動センターをつくることを目指す。今後は、市民や市民団体を繋いで、地域の課題を解決するための仕事づくりなどを行い、ローカルファイナンスを利用した自立した活動を目指す。

◎実績の評価と改善点（継続事業のみ）

※継続事業については、過去の実績に対する自己評価と実績を踏まえた改善点等について記載して下さい。

◎特に高い公益性を有することの説明（ハード部門のみ）

※補助金申請額が「特に公益性が高い事業」に該当する場合は、その理由を記載して下さい。